その背中や腰の痛みの原因
「脊椎椎体骨折」かもしれません

骨粗鬆症などで弱くなった背骨が圧し潰れるように変形してしまう骨折（脊椎椎体骨折）に対する新しい治療法

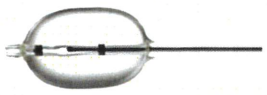
バルーン カイフォプラスティ

（経皮的椎体形成術）
けいひてきついたいけいせいじゅつ

を当院では行っています。

潰れた骨を骨折前の状態に近づけることで、
痛みの早期軽減や生活の質（QOL）の向上が期待されます

バルーン カイフォプラスティ



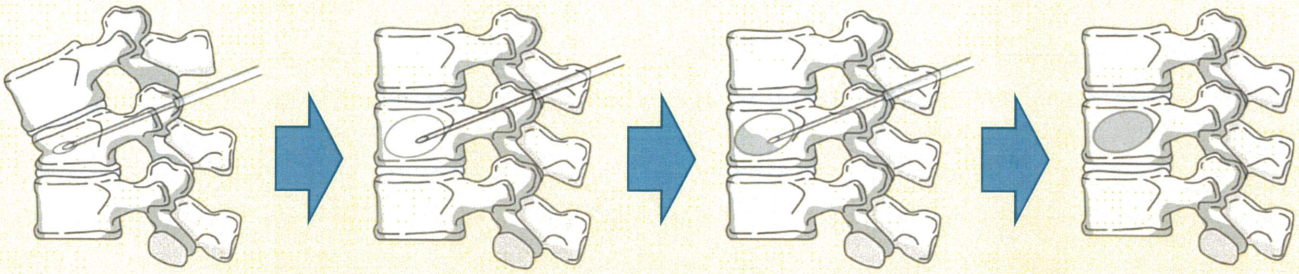
術中使用するバルーン

手術の特徴

手術は短時間（約1時間以内）で行われ、傷口は背中に約1cmほど（2ヵ所）です。

手術の方法

手術は全身麻酔をして行ないます。ベッドにうつぶせになった状態で、風船（バルーン）状の手術器具や医療用のセメント（骨セメント）を使用し、レントゲンの透視装置により処置を確認しながら行ないます。



①潰れた椎体に小さな風船のついた器具を挿入します。

②風船を徐々に膨らませ、潰れた骨を持ち上げて、できるだけ骨折する前の形に戻します。

③風船を抜いた空間に骨セメントを充填していきます。

④椎体の中に充填した骨セメントは手術中に固まります。

※イラストはイメージです。

詳しくは、整形外科 外来までご相談ください。